



2001年12月17日

「オートカラー アワード2002」で、ルポが輸入車初の大賞を受賞

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉)が輸入販売する人気小型車ルポのボディカラー「ファンタシア グリーン」が、さる12月7日(金)、自動車のカラーデザインを顕彰する日本では唯一の団体、「社団法人日本流行色協会:JAFCA」主催の「AUTO COLOR AWARDS 2002」において、本年度もっとも優れたボディカラーに与えられる「グランプリ」を獲得。あわせてニュービートルのボディカラー「レモンイエロー」も、消費者に新たな生活シーンを提案するカラーデザインであるとして、「ファッションカラー賞」に選ばれ、フォルクスワーゲンの人気モデルに設定されたボディカラーが、見事、上位を占める快挙を達成しました。

「AUTO COLOR AWARDS」は、自動車業界のさらなる活性化と、カラーデザインの向上を目指して設けられた顕彰制度であり、カラーデザインはもちろん、そのフォルムやインテリア デザインなどのマッチングを考慮し、全体として優れたカラーデザインを選出する事を目的として、1999年から表彰が始まりました。また、この「AUTO COLOR AWARDS」を運営する「日本流行色協会」は、生活のあらゆる分野での流行色を予測し、会員に発信する公益法人の色彩情報機関として、1953年(昭和23年)に発足した歴史ある団体です。

国内外から30車種のエントリーがあった今回の選考会において、グランプリを授賞したルポの「ファンタシア グリーン」について、協会は次のような理由を述べています。「全ての応募作品の中で、他を圧倒するインパクトの強さを見せていた。新技術がカラーデザインをリードする時代から、メッセージ性のあるカラーの時代へ、という変革を象徴する点が、インパクトと共に強く評価された。ソリッドカラーだけに絞り込んだ明解な割り切りも、企業姿勢として重要であろう。」と、フォルクスワーゲンがアピールしている「変革」というメッセージとも一致する、非常に高い評価を頂きました。

また、同時にファッションカラー賞を受賞したニュービートルの「レモンイエロー」については、「2001年の夏のファッションカラーを意識して設定されたパステルトーンのイエローは、アシッドカラーやナチュラル指向のトレンドを巧みに表現している。シート表面にも同色を配し、さらにニュービートルの特徴的な装備であるフラワーベース(一輪挿し)も半透明イエローでコーディネートするなど、そのファッション性は際立っている。」と、ここでもフォルクスワーゲン ブランドが目指す若々しいイメージに符合する、明解な評価を頂きました。

このように、現在「期待を超える何かがある」というスローガンの元、新しいブランドイメージの構築に取り組んでいるフォルクスワーゲンは、フォルクスワーゲンが得意とする最新テクノロジー、高い製品クオリティ、極めて優れた耐久性と安全性に加え、若々しく、革新的で新しい価値観をもったライフスタイルという、フォルクスワーゲンの変革のメッセージをお伝えできていることが、今回の「AUTO COLOR AWARDS 2002」の受賞においても証明されました。